

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公開番号】特開2009-60960(P2009-60960A)

【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-012

【出願番号】特願2007-229122(P2007-229122)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月23日(2010.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の図柄を施した図柄帯が付された可動表示体を複数有した図柄変動表示装置を備え、前記図柄変動表示装置は前記可動表示体に付された図柄帯上の図柄を所定個数分の図柄群として前記図柄変動表示装置内の所定箇所に表示可能とする図柄表示部を有し、

遊技価値の投入と遊技者の始動操作により複数の前記可動表示体の変動を開始させ、全ての前記可動表示体の停止操作が受け付けられると、前記図柄表示部に1回のゲームの結果を表示する遊技機であって、

1回のゲームごとに予め決められた複数の当選役及びハズレ役の中からいずれかを選び出す抽選を行う内部抽選手段と、

前記内部抽選手段により行われる前記内部抽選に予め決められた通常の抽選確率を適用して前記内部抽選の結果を判断する通常抽選判断手段と、

前記通常抽選判断手段とは別に、前記内部抽選手段により行われる前記内部抽選に前記通常の抽選確率に代えて、前記通常の抽選確率に比して遊技者に有利となる特別な抽選確率を適用して前記内部抽選の結果を判断する特別抽選判断手段と、

前記可動表示体の回転を個々に停止させるべく個々の前記可動表示体について前記停止操作を受け付けることの可能な複数の停止操作手段と、

前記複数の停止操作手段にて停止操作が受けられると、前記停止操作の受け付けられた当該可動表示体ごとに前記内部抽選の結果に基づいて前記可動表示体の変動停止を制御する可動表示体停止制御手段と、

前記図柄表示部内に表示された所定個数分の図柄群を前記複数の可動表示体にまたがつて見た場合に、各々の前記可動表示体について少なくとも1つの図柄を選び出してできる組み合わせのうち、前記当選役に対応する図柄の組み合わせが表示されたときにその組み合わせを有効とする表示位置を決定する有効表示位置決定手段と、

全ての前記可動表示体が停止状態となると、前記有効表示位置決定手段により決定された前記有効表示位置に前記当選役に対応する図柄の組み合わせが表示されたか否かを判定する表示図柄判定手段とを備え、

前記複数の当選役は、

所定の期間にて遊技価値の付与される機会を増加させた特別遊技状態に遊技状態を移行

させる契機となる特別当選役と、

前記特別当選役とは別に当該ゲームにて遊技価値の付与を伴う特典に対応する特定当選役を少なくとも有し、

前記内部抽選の当選役のうち、少なくとも前記特別当選役の抽選確率を前記通常の抽選確率から前記特別な抽選確率に変更させた特別抽選遊技状態にてゲームの進行を制御する特別抽選遊技状態制御手段と、

前記特別抽選遊技状態に移行可能な特別抽選遊技移行可能状態を所定期間継続させる移行可能状態継続手段と、

前記特別遊技状態の終了後から前記特別抽選遊技移行可能状態を開始させる移行可能状態開始手段と、

前記特別抽選遊技移行可能状態にて前記特定当選役に当選した場合、所定の割合にて前記特別抽選遊技状態に遊技状態を移行させる特別抽選遊技状態移行手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

#### 【請求項 2】

前記特別抽選遊技状態制御手段により前記特別抽選遊技状態にてゲームの進行が制御されると、前記特別抽選遊技状態が継続するあいだは少なくとも1つ以上の当選役について前記特別抽選判断手段により前記内部抽選の結果を判断させる特別抽選判断継続手段をさらに備える

請求項1に記載の遊技機。

#### 【請求項 3】

前記複数の当選役のうち、前記特別当選役とは別に当該ゲームの結果として遊技価値を与える一般小役に対応する図柄の組み合わせが前記図柄表示部内に表示されたと前記表示図柄判定手段により判定されると、当該ゲームにて前記一般小役に対応する規定数の遊技価値を遊技者に付与する一般小役遊技価値付与手段をさらに備える

請求項1または請求項2に記載の遊技機。